

医師と医師会を結ぶ情報紙

都医NEWS

Vol. 696

- 新型コロナウイルス感染症と闘った4年間の振り返りを行います **01**
- 底流/地区医師会長連絡協議会報告 ほか **02**
- みどりの広場 ほか **03**
- ふれあいポスト **04**
- 感染症豆知識 ほか **05**
- 地区医師会長からの一言 **06**

発行所 ■公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 ■1部77円



世田谷区・羽根木公園

新型コロナウイルス感染症と闘った4年間の振り返りを行います

新興感染症発生時のBCP作成に向けて

新型コロナウイルス感染症が発生して4年の歳月が過ぎました。今も患者は発生していますが、発生当初の誰が重症になるかわからない、有効な治療法が確立していないという状況から見ると、ウイルスそのものの変異やワクチン接種による抗体保有者の増加等により、臨床現場での緊迫感、逼迫感は軽減しているように思います。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」といいますが、日々が経つにつれ、大変だった日々の記憶も曖昧になってきます。

令和4年12月に感染症法が改正され、次の感染症の発生・流行に備え都道府県と医療機関は個々に「医療措置協定」を締結することが定められました。現在、東京都から各医療機関へ医療措置協定の協定書(案)が示されたところ

です。新型コロナウイルス感染症は世界的流行(パンデミック)となりました。歴史に紐解けば、パンデミックはおよそ100年に1度起きており、次のパンデミックの時には今回の新型コロナウイルスによるパンデミックを経験した医療従事者も住民もほとんど生存在していません。1970年代以降およそ10年ごとに新興感染症の地域的流行(エンデミック)が起きています。

東京都医師会では、未曾有の流行となった新型コロナウイルス感染症との戦いを記録

に留めること、そしてそれに基つき次の新興感染症発生時のBCP(事業継続計画)を作成することを計画しています。

令和5年11月に会内の各委員会委員に、12月開催の地区医師会長連絡協議会で地区医師会としての「新型コロナウイルス感染症の振り返り」をお願いしました。

振り返りを行っていただに、参考と波までの患者発生数や幾つかの施策をまとめた図(下記)と記載項目案を作成し、提供いたしました。

委員会の皆様には、各委員会が担う領域について振り返っていただきたく思います。例えば、乳幼児保健委員会であれば、乳

幼児健診、定期予防接種、保育等に関する事項について、在宅医療委員会であれば平時の在宅医療、新型コロナウイルスの在宅療養への支援について等です。

地区医師会にはPCR検査、新型コロナウイルスワクチン接種等地区ごとの努力、うまくいったこと、あるいは困難であったこと等をお願いしております。さらに次の感染症の発生・流行に備えるの提言も盛

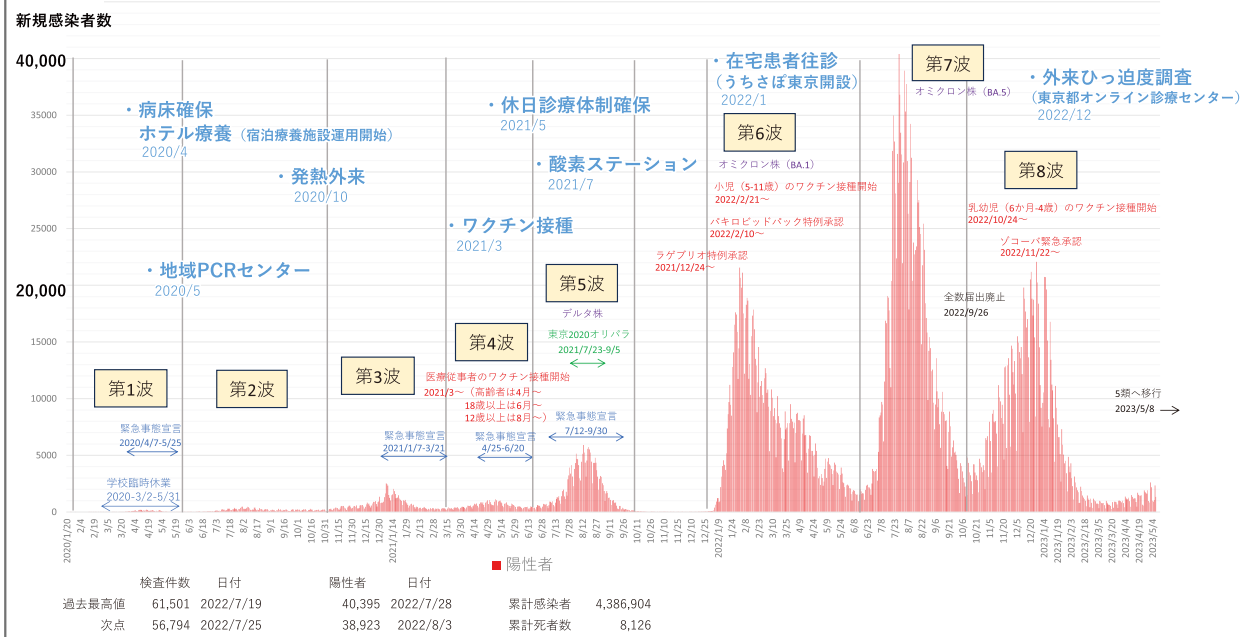
り込んでいただけることを期待いたします。

委員会からの振り返りは、ご意見を集約し、テーマごとあるいは発生後の時期ごとに整理したいと考えています。

関係する皆様には、多大なご負担をお願いすることになります。

東京都医師会
疾病対策担当理事
川上一恵

東京都における新型コロナ感染状況の推移 (2020/1/20~2023/5/8)



底流

地域BCPについて

事業所ごとのBCPだけで在宅療養者の災害時生活支援を継続することは困難であり、地域包括ケアシステムの中での十分な議論が必要だ。

BCP (Business continuity plan) とは、大規模災害や新興感染症蔓延等の緊急事態において、損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図るための計画である。厚生労働省は平成24年に全医療機関と都道府県に対し、「医療機関は災害対策マニュアルとともにBCP作成に努め、都道府県はこれらの策定状況について確認を行うこと」との通知を发出(医政発0321第2号)。その後、災害拠点病院、精神科災害拠点病院、総合・地域周産期母子医療センターの指定要件にBCP策定が追加された。また、介護事業所と障害福祉事業所に対し、令和6年4月までの災害時BCP策定を義務化している。今後、医療・介護事業所ごとの速やかな計画推進が望まれる。

一方で、地域包括ケアシステムの視点から見ると、事業所ごとのBCPだけでは在宅療養者の災害時生活支援を継続することは困難だ。移動能力の低下した在宅療養者に対する医療・介護サービスはそれぞれ異なる事業所が異なる11月26日(日)に開催し、当日の様子を収録した動画及び資料を本会ホームページに掲載したので案内した。

(3) 令和5年度がん検診受託機関講習会(オンライン)の開催について

本講習会を、がん検診担当理事及び区市町村のがん検診を受託している医療機関の医師を対象に、1月29日(月)〜2月28日(水)を視聴期間としてWEB開催(録画配信)する。1月25日(木)まで視聴申込を受け付けているので、多くの先生方にご視聴いただきたく案内した。

(5) 地域早期移行支援事業の実施について

中小の救急医療機関を対象とした転院支援事業が1月1日から開始された。診断・初期治療を終えた救急患者が早

12月20日(水)、都内ホテルにおいて、令和5年東京都医師会役員就任披露並びに年末懇親会が約470名を迎え盛大に開催された。今回は4年振りに立食形式で行われ、司会進行は水野重樹・増田幹生両理事が務めた。平川博之副会長による開会挨拶のあと新役員の紹介があり、続いて尾崎治夫会長から挨拶があった。尾崎会長は、「コロナ禍において良かった点は、一緒に実行してくれる、信頼できる人達がどういう方々か分かったことである」と述べた。また、コロナ禍で日本医師会、道府県医師会、地区医師会、東京都福祉局・保健医療局、消防庁、国会議員、都議会議員、歯科医師会、薬剤師会、看護協会に協力いただけたこと

12月20日(水)、都内ホテルにおいて、令和5年東京都医師会役員就任披露並びに年末懇親会が約470名を迎え盛大に開催された。今回は4年振りに立食形式で行われ、司会進行は水野重樹・増田幹生両理事が務めた。平川博之副会長による開会挨拶のあと新役員の紹介があり、続いて尾崎治夫会長から挨拶があった。尾崎会長は、「コロナ禍において良かった点は、一緒に実行してくれる、信頼できる人達がどういう方々か分かったことである」と述べた。また、コロナ禍で日本医師会、道府県医師会、地区医師会、東京都福祉局・保健医療局、消防庁、国会議員、都議会議員、歯科医師会、薬剤師会、看護協会に協力いただけたこと

地区医師会長連絡協議会報告

令和6年1月19日(金)

◎都医からの伝達事項

(1) 令和5年度せん息治療講演会の収録動画等について

本年度の講演会を令和5年

11月26日(日)に開催し、当日の様子を収録した動画及び資料を本会ホームページに掲載したので案内した。

(2) 令和5年度東京都麻しん・風しん予防対策事業医療従事者向け研修会の開催について

本研修会は麻しん及び風しんの両疾病の性質、予防のための対策、予防接種の効果及び必要性等について広く周知を図るため、1月27日(土)午後3時からWEB開催する。1月26日(金)まで申込期間を延長したので、多くの先生方に受講いただきたく案内した。

(3) 令和5年度がん検診受託機関講習会(オンライン)の開催について

本講習会を、がん検診担当理事及び区市町村のがん検診を受託している医療機関の医師を対象に、1月29日(月)〜2月28日(水)を視聴期間としてWEB開催(録画配信)する。1月25日(木)まで視聴申込を受け付けているので、多くの先生方にご視聴いただきたく案内した。

(4) 「東京在宅医療塾」シンポジウム〜地域医療のニーズ

(5) 地域早期移行支援事業の実施について

中小の救急医療機関を対象とした転院支援事業が1月1日から開始された。診断・初期治療を終えた救急患者が早

(6) 令和6年能登半島地震における東京都医師会の対応

JMAT関連について

1月1日に発生した令和6年能登半島地震における本日まで状況と、東京都医師会の対応方針について報告した。

◎出席者による意見交換

◎その他

(1) 社会保険診療報酬支払基金のオンライン請求について

(練馬区医師会)

東京都医師会役員就任披露並びに年末懇親会

12月20日(水)、都内ホテルにおいて、令和5年東京都医師会役員就任披露並びに年末懇親会が約470名を迎え盛大に開催された。今回は4年振りに立食形式で行われ、司会進行は水野重樹・増田幹生両理事が務めた。平川博之副会長による開会挨拶のあと新役員の紹介があり、続いて尾崎治夫会長から挨拶があった。尾崎会長は、「コロナ禍において良かった点は、一緒に実行してくれる、信頼できる人達がどういう方々か分かったことである」と述べた。また、コロナ禍で日本医師会、道府県医師会、地区医師会、東京都福祉局・保健医療局、消防庁、国会議員、都議会議員、歯科医師会、薬剤師会、看護協会に協力いただけたこと

ロケウイルス感染症に対する対応について謝辞を送るとともに、「来年度に東京都感染症予防計画の改定が予定されている。今後、感染拡大時の病床の確保、保健所の体制の強化などコロナで得られた経験および知見をもとに計画的に医療体制を整えていく」と述べた。多数の来賓の方々を迎え、蓮沼剛副会長の閉会挨拶をもって盛況のうちにお開きとなった。



FM93 AM1242 月曜から金曜
ニッポン放送 あさ6時15分頃から
『モーニングライフアップ 今日早起きドクター』 放送中!

ニッポン放送(AM1242kHz/FM93.0MHz) 朝の番組「飯田浩司のOK! Cozy up!」内で6時15分頃から5分程度、東京都医師会の役員・委員会委員等が出演して生活に役立つ健康情報をお届けしています。過去の放送はすべて番組ホームページまたはポッドキャストから聴くことができます。

飯田浩司の OK! Cozy up!

■番組ホームページ
<http://www.1242.com/cozy/>

■ポッドキャスト
<https://omny.fm/shows/cozy-up/playlists/doctor>

191 みどりの広場

つなげる医療で つなげる安心

地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立大久保病院院長

荻田達郎



2023（令和5）年度は、5月8日の新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナウイルス）の5類移行に伴い、新型コロナウイルスの医療活動を本格的に回復することが使命の一つでした。しかし、全国的に急性期病院の患者関連の経営指標は2019（令和元）年を下回っています。都立大久保病院においても、新型コロナウイルスへの対応を重要なミッションとして、新型コロナウイルス病床設置に伴

い制限していた一般患者の入院、手術や救急診療を再開しましたが、その立て直しは大きな課題となっています。皆様ににおかれましても、医療、行政の現場でウィズコロナにおける活動にご苦労をされているものとお察しいたします。

当院は1879（明治12）年に伝染病専門病院として発足し、その後、東京市立大久保病院、都立大久保病院、東

京都保健医療公社大久保病院を経て、2022（令和4）年に地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大久保病院として再出発しました。

「大都市東京を医療で支える」という理念のもと、地域医療支援病院として地域医療機関と連携しながら質の高い全人的医療を提供する使命を担っています。これからも、都の医療政策として求められる行政的医療、専門的な医療

を一層充実させていく所存です。

当院の重点医療の一つは救急医療（二次救急医療センター）です。新型コロナウイルスの急拡大時には、積極的に救急患者さんを受け入れたほか、その立地から多くの急性アルコール中毒症患者さんにも対応しています。

当院は腎医療に強みを持ち「腎センター」では腎内科、移植外科、透析室が協働して腎疾患の治療や生体腎移植を積極的に行っています。新型コロナウイルス流行の際には、行政と協力しながら新型コロナウイルス患者さんの透析治療にも貢献してきました。

一般診療として、「脳心臓・血管センター」では脳卒中の

「D W I B Sサーチ」という無痛MRI乳がん検診をホームページ上で受け付けており、「かんとんネット予約」ができますので、乳がんの早期発見・早期治療への一助として関係者にお勧めいただけます。

無痛MRI乳がん検診の紹介状は必要ありませんが自費診療となります。

ウィズコロナにおける社会活動が本格化する中で、当院はこれからも地域連携に

力を注ぎ、皆様にご満足いただけるよう「つなげる医療でつなげる安心」をスローガンに、地域医療、行政的医療、専門医療において更なる貢献を目指す所存です。

最新の知見を取り入れながら、ためまぬ自己改革を行い、地域医療機関の皆様と共に患者さんに寄り添った質の高い医療を提供し続けるよう努めてまいります。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。



皆中稲荷神社

「みなあたる」と当選祈願で人気の古社

趣味の散歩

「まかねしく、道のひらけてつし見に、ゆく人おほし、大久保の里」（真金敷くゞ鉄道の建設）

これは明治32（1899）年に明治天皇が大久保のつじを観賞され、その賑わいを歌に詠まれたもので、その歌碑が皆中稲荷神社内に建立されています。

山手線新大久保駅から徒歩1分に位置する皆中稲荷神社は、天文2（1533）

年9月27日稲荷之大神を神に奉斎されました。以来この地の総社として鎮祭、新宿の発展とともに由緒ある歴史をもつ神社として篤く信仰されています。

寛永年間、徳川幕府が「鉄炮組百人隊」を現在の新宿区百人町に駐屯させてから旗本や上下の士に篤く信仰され、町名も百人町と名づけられました。

当時、鉄炮組互力の射撃がなかなか思うようにいかず、一夜煩悶のまま眠りに

落ち入ったところ、稲荷之大神が夢枕に立たれたとのこと。翌朝大矢場にて射撃を試みたところ百発百中、全体的中、見事な進境に驚いたとのこと。この話が、近郷近在に伝わり、射撃のみでなくさまざまな願いごとをする参詣者が多くなり、みんなからこの神社を「皆中（みなあたる）の稲荷」と称えられるようになり、その後「皆中稲荷神社」という名で呼ばれるようになりました。

近年はコンサートやライブチケットの良席当選祈願、宝くじの当選祈願に来るばかりではなく、海外の観光客まで幅広く訪れています。

（新宿区医師会 宮田直輝）

知っていますか?

閏年（うるうどし）

閏年はほぼ4年に一度やってくる。「ほぼ」というのは、100の倍数の年（例えば1900年パリオリンピックの年）は閏年ではなく、400の倍数の年（例えば2000年シドニーオリンピックの年）は閏年となるから。つまり400年間に97回。ちなみに、日本の暦はグレゴリオ暦が採用されている。



東京都立大久保病院 女性医療センター

心れあいポスト 各地区会報から

練馬区医師会 森岡成太

わたくしの趣味～ラグビー観戦～

わたくしが整形外科を選んだのは父の影響はもちろんありますが、小さな頃からスポーツをすることが好きであり、中学・高校・大学と運動系の部活に所属してきたことが大きく影響しています。

特に大学ではラグビー部に入り、よき先輩後輩に恵まれとても充実した学生時代を過ごせたことは忘れられません。(関東の医歯薬リーグは大学院生も出場できるようになり、小生も出場し骨折したことは一生の汚点です。)

今では観戦がもっぱらの趣味となっていますが、最近の観戦に行った時のことを少し書かせていただければと思います。

まずは2015年ラグビーワールドカップ、皆さんもご記憶にあるかもしれませんが、南アフリカ戦の勝利の感動は忘れられません(わたくしが生きている間に南アフリカに勝つとは思ってもよらなかった)。真夜中に雄叫びをあげたのは言うまでもありません。

その4年後日本でついにワールドカップが開催され、グループリーグ突破、決勝トーナメント一回戦では南アフリカにリベンジをされてしまいましたが、確実に近づいてきていることは一ラグビーファンとして嬉しく思っていたところです。

そんな中2022年にニュージーランドの来日が決定し、1試合のみ、それも新国立競技場での開催です。めったにない幸運に恵まれ観戦できる事となりました。友人、妻の三人で観戦することとなりました。

試合当日は、午前診療が終わりに差し掛かったころ、診療終了直前にレントゲン撮影にトラブルが発生。突然、撮影ができなくなったのです。何度も何度もスイッチを押しても照射されません。若干、パニック。業者さんに連絡しても原因がわからず、結局撮影はできるようにならず、超音波などで代用し何とか終了。時計は13時45分を指していました。試合開始まで約45分。ダッシュで電車で飛び乗り信濃町まで向かいます。武蔵関駅まではもちろん、信濃町の駅を降りてからも猛ダッシュ。ここ数年で一番です。

会場に何とかついた時には14時29分。初めての新国立競技場、会場内は熱気と活気に満ち溢れていました。試合前にギリギリ間に合い、本物の八力を間近に見ることができ、さらに最高の場所(新国立競技場)での観戦ができ臨場感、迫力はすさまじく最高の時間でした。

試合は惜しくも31対38で敗れはしましたが、あのニュージーランドに善戦、最高の試合で、最高の一日となりました。

これで翌週からの仕事ははかどったのは言うまでもありません。これからもラグビー観戦を糧に仕事を頑張っていこうと思います。(笑)

今ちょうど、FIFAワールドカップが開催中。サッカーもドイツ、スペインと優勝経験国に連勝し、グループ突破で盛り上がっておりますが、ラグビーも負けてられません。次回のワールドカップでは優勝を狙ってほしいものです。(笑)

(練馬区医師会「だより」2023年1月 第658号より抜粋)



試合開始前の新国立競技場 晴天なり

医師国保からのお知らせ

被保険者証の更新について

現在皆様がお持ちの被保険者証の有効期限は、令和6年3月31日です。

新しい被保険者証は、3月中旬から各事業所宛に、簡易書留にて郵送いたします。

(大学医師会所属の先生につきましては、医局またはご自宅へ郵送いたします。)

※70～74歳の方がお持ちの、「高齢受給者証」の有効期限は令和6年7月31日(75歳になる方は75歳の誕生日前日)です。お間違いのないようお願いいたします。

詳しくは当組合ホームページをご覧ください

東京都医師国民健康保険組合 ☎ 03-3270-6433 (業務課)

掲示板

医師会員先生方
ご著書をご紹介ください



自薦・他薦OK 募集中!

各地区医師会におかれまして、会員が出版された本がございましたら、この掲示板のコーナーで紹介してみませんか。

都医ニュースでは、本年も会員の先生方が出版されました本を募集いたします。この掲示板のコーナーは、主に会員の先生方が出版された本を中心に紹介していきます。

ご自身で、またはお知り合いの先生で本を出版された方がおられましたら、ぜひこの機会に東京都医師会・広報学術課までお知らせください。

【お問い合わせ先】東京都医師会・広報学術課

☎ 03・3294・8821

無声拝聴

災害のレガシーとは

2024年、ぼちぼち空いた頃かな、と思いながら初詣に出掛けている最中に、かつて極度の緊張や不安を強いられたアラートに足を止めた。東日本大震災の後辛くなる程聞かされた警報音だった。世田谷の地を歩いていた時に、揺れを自覚することはなく、のんびりと帰宅後に見たニュースは酷いモノだった。映像は建物の倒壊する瞬間を捉えていたり、津波に対する警報が止まらなかったり。

ある雑誌で、最近の社会人研修で課題を出すと、大手企業の幹部候補生においても「他ではこの状況でどういった対処方法があったのか」など、自ら解答を求める傾向が強いという記事を目にした。更には、自らを規制して厳しく勉学に励み難関大学に入学した人間ほど、正解にこだわる傾向が強い、という考察があり、これが「正義主義」を蔓延させ、そこに現在では生成AIが圧倒的な知識を持って誕生し、この正義至上主義を凌駕しようとしている、と締めくくられていた。

今回の震災の報道から得られる情報では、以前の震災のレガシーは悲しいかな見当たらない。当然被災地での連携方法や援助施策には影響しているのだろうが、一般の被災者の方々、あの時と同様の悲しく厳しい現実を日々経験されているように見受けられる。もし生成AIが出したモノが

都医からのお知らせ INFORMATION

第463回 国際治療談話会 例会「副甲状腺疾患の最新診療」

問合先 (公財)日本国際医学協会 事務局 東京都世田谷区上馬1-11-9 3F
TEL: 03-5486-0601 FAX: 03-5486-0599
E-mail: imsj@imsj.or.jp URL: <https://www.imsj.or.jp/>

日時▶ 3月21日(木) 19時~21時 **形式**▶ ハイブリッド講演
会場▶ 紀尾井フォーラム **開会挨拶**▶ 石橋健一((公財)日本国際医学協会 理事長)
座長▶ 伊藤公一((公財)日本国際医学協会 常務理事)
(第1部)感想▶ 「がん教育の現場における子宮頸がんとHPVワクチン啓発の最前線」
難波美智代(一般社団法人シンクパール 代表理事/一般社団法人PHR普及推進協議会 理事)
(第2部)講演I▶ 「腎性副甲状腺機能亢進症への外科的治療」日比八東(藤田医科大学医学部内
分泌外科 教授) **講演II**▶ 「原発性副甲状腺機能亢進症に対する手術加療について」友田智哲
(伊藤病院 外科医長)
申込方法▶ 3月18日(月)までに、右記2次元コードまたは当協会ホームページよりZoomウェビナーへの事前登録をお願いいたします。
参加・視聴▶ 無料
取得単位▶ 日医生涯教育制度1.5単位(CC: 11、0)予定



人類と常在菌の共進化

新生児は無菌に近い状態で出生した後、すぐに腸管内に細菌が見られるようになる。最初に腸内で優勢になるのは酸素下でも生育可能な通性嫌気性菌で、その後酸素が消費されてしまうと偏性嫌気性菌が優勢になる。その結果、生後1週間でビフィズス菌が優勢となり授乳中はそれが続く。離乳食が始まると菌の種類は多様化し3歳頃に成人と同様となる。

腸管免疫の成熟には正常な腸管細菌叢の確立が必要であり、それが阻害されると炎症性腸疾患等の消化管疾患だけでなく、喘息等の呼吸器疾患、糖尿病等の代謝性疾患、アトピー性皮膚炎等の皮膚疾患、自閉症等の脳神経疾患などさまざまな疾患の発症と関連することが分かってきた。すなわち腸内常在菌は我々の健康を維持するのに必要不可欠なものなのである。

興味深いのはこれら常在菌の由来である。腸内細菌叢は動物種に特異的とされる。世界各地の人類や類人猿の腸内細菌の系統樹を書くと、霊長類の系統樹と似たものとなることから、人類や霊長類とその常在菌はいわば共進化してきたと考えられる。親から子に常在菌を受け継ぐシステムとしては産道通過時、母子・父子接触時、授乳時等が考えられる。実際、経膈分娩と帝王切開、母乳と人工乳、抗菌剤の使用の有無で新生児の腸内細菌叢に違いが見られ、その影響は比較的長く続くという。

2000年代に次世代シーケンサーが登場し、メタゲノム解析により常在細菌叢への理解が深まってきた。分娩方法、分娩時の抗菌薬の投与、母児接触、授乳、新生児期の抗菌薬の投与等出産前後のイベントが児の常在菌に変化をもたらす、ひいては将来の健康状態に影響する可能性があるのである。周産期医療は元気な母子を送り出したら終わりではないということだ。(文責: 山下隆博)

感染症豆知識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

東京慈恵会医科大学附属病院医療連携フォーラム 5年先の医療と介護を一緒に予測してみませんか?

— 第8次医療計画と地域医療の将来 —

問合先 東京慈恵会医科大学附属病院 東京都港区西新橋3-19-18
患者支援・医療連携センター 医療連携室
TEL: 03-5400-1202 (直通) FAX: 03-5401-1879

日時▶ 3月14日(木) 19時~20時30分
会場▶ 東京慈恵会医科大学2号館講堂・Zoom
講演①▶ 「東京都医師会から見た地域医療の課題~TMA近未来医療会議の議論を踏まえて~」
鳥居 明(東京都医師会 理事/鳥居内科クリニック 院長)
講演②▶ 「令和6年度 診療報酬改定を踏まえた、地域完結型の医療・介護提供体制の構築について」矢島鉄也(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構政策推進部副部長(企画戦略担当)/元厚生労働省健康局長 千葉県病院事業管理者)
申込方法▶ 右記2次元コードよりお申し込みください。
取得単位▶ 日医生涯教育制度1.5単位(CC: 12)予定



令和6年 診療報酬改定講習会

今回の診療報酬改定より、施行時期が6月1日に変更されることをふまえ、開催時期や開催形態等を検討中です。詳細が決まり次第、以下のページに掲載いたします。

なお、改定に伴う関東信越厚生局の説明会(集団指導)は、前回同様、実地では開催されず、代わりに動画配信が行われる予定です。

令和6年度 診療報酬改定に関する情報(都医ホームページ)

<https://www.tokyo.med.or.jp/33034>

※令和6年度 診療報酬改定に係る資料や講習会の最新情報を掲載しております。



2024年度 慈恵医大月例セミナー(日本医師会生涯教育講座)

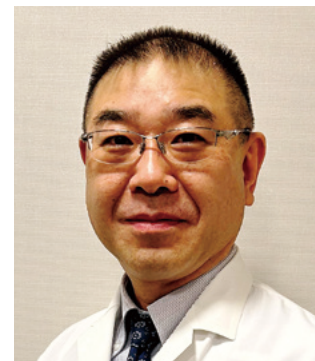
問合先 慈恵医大生涯学習センターまたは慈恵医師会
TEL: 03-3433-1111 (大代表) (内線2634・2636)

会場▶ 慈恵大学病院 中央棟会議室(8階) **時間**▶ 16時~18時
開催日・内容▶ ※一部変更する場合があります

- 第266回 4月13日(土)**
「呼吸器疾患に使う吸入薬の使い方」沼田尊功(呼吸器内科) 16時~17時
「電子タバコと呼吸器疾患」村松弘康(呼吸器内科) 17時~18時
- 第267回 6月8日(土)**
「片頭痛の最新治療」常喜達裕(総合診療部) 16時~17時
「神経難病の新薬について」梅原 淳(脳神経内科) 17時~18時
- 第268回 11月9日(土)**
「日常診療における発疹の見方~乾癬を含めて~」梅澤慶紀(皮膚科) 16時~17時
「アトピー性皮膚炎の最新治療」出来尾格(皮膚科) 17時~18時

地区医師会長からの一言 (大学) 医師会の存在意義とは

東邦大学医師会長 中島耕一



2023年度より東邦大学医師会長を拝命いたしました中島と申します。診療科は泌尿器科です。どうかお見知りおきのほどよろしくお願ひ申し上げます。このたび「地区医師会長からの一言」の原稿依頼を受け、一筆添えさせていただく次第です。

大学医師会執行部の末席に加えていただいていたからすでに10年近くになるうとしています、更にこのたび会長に就任するにあたり、実のところ医師会、特に大学医師会の存在意義は何だろかと自問自答する日々でした。正直申し上げますと「医師会」はどちらかというと政治的な活動ばかりをしているイメージで、あまり良い印象を持っておりませんでした。個人的な話で恐縮ですが、元々帝国軍人にならんとしていた身としては（物心ついた時には帝国陸海軍は存在しておりませんでした）、「世論に惑わす政治に拘らず只々一途に己か本分の忠節を守り…」を、医師免許を受領してなお生きるよすがの一つとして記録しております。従って軍人ではないにしても政治的なことには拘らないことを良しとしていたのですが、組織の中に身を置くと必ずしもそのような青臭いことばかり言っていられない場面に直面することが多いのも現実でした。

翻って東京都医師会の目的を拝見すると、定款第3条に「日本医師会及び郡市区等医師会との連携のもと、医道を昂揚し、医学技術の発達普及と公衆衛生の向上を図り、もって社会の福祉を増進

することを目的とする」とあります。医師会組織に対する冒涇とも思える、誤った思い込みがあることに気付き浅学を恥じる次第です。

また最近では役目上、地区医師会の先生方と交流させていただく機会が増えてきました。その中で今般のコロナ禍における第一線の活動をはじめ、医師会の先生方が個人では困難な対応に医師会を通じて有機的に連携され、真摯に地域医療へ取り組んでいることを知りました。大学病院にいただけではなかなか見えない事実だと思ひます。こうしたことから、今は大学医師会の役割が見えてきた気がいたします。地域連携と教育を主眼として、教育には医療倫理、生命倫理を包含させることで単なる疾患を治癒せしめる下医ではなく、せめては心をも癒やす中医の輩出を目指し、その上で地域医療に貢献することかと思ひます。アカデミアからすれば更なる高みの上医たる対応が視野にある医師の育成も重要かと思ひます。一方で医師としても「只々一途に己か本分の忠節を守り」はプロフェッショナリズムの観点からも重要な覚悟だと思ひますし、そうした認識において地域の先生方と連携がとれるのだと思ひます。

東邦大学医師会も職能団体としての一医師会として、医道の昂揚と社会の福祉増進を図るべく微力ではありますが、尽力したいと思ひます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。